

平成26年度 年間事業計画

東筑保育園

現在「子ども・子育て支援新制度」の構築に向けた議論が子ども・子育て会議で進められ、保育制度の大きな転換期を迎えようとしている今、地域社会において児童福祉施設である保育所はすべての子どもの最善の利益のため、保育の質的向上とともに保護者支援や地域における子育て支援等、保育所に求められる役割がより一層増大されており、さらに安心して利用できる施設でなければならないと痛感している。

こうした状況の中、今年度も地域や子育て家庭に身近で親しまれる存在として、市民センターの子育て支援を通じて、区役所の保健師や栄養士、児童館とも連携し、地域住民のニーズや時代の要請を受け止めるため、保育内容の充実を図る。前年度に、障害児保育に取り組み（気になる子が増え）、他機関（療育センター、ひまわり学園等）との連携を深めたことで、職員の子供たちへの意識が変わり、一人ひとりへの関わりがより丁寧になってきたように思う。引き続き、特に子どもの心の育ちに目を向け、自己肯定感を高める保育に取り組み、園長並びに職員の資質の向上に努めたい。

また、併設の則松市民センター大規模改修工事や保育所外装工事等により、騒音や資材搬入による大型車の往来等、危険を伴うと思われる。子どもの安全・安心を第一に、行政や工事関係者と密接な連携のもと、無事に工事が終了するよう職員共々気を引き締め、保護者・地域の方々や則松市民センターとも共同歩調をとり、地域に根ざす保育所・利用しやすい保育所・信頼される保育所を目指して、一生懸命保育に取り組んでいきたい。

【入所児童 見込数】

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児数	7人	23人	23人	20人	23人	24人	120人

【一時保育利用状況 見込数】

未満児		以上児		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
80件	160,000円	20件	30,000円	100件	190,000円

※ 通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

【職員配置】 必要に応じて代替職員を雇用

【延長保育利用状況 見込数】

利用登録人数（年間）	200人	平均実利用者数	10人
------------	------	---------	-----

※ 異年齢児の関わりを大切にした遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子どもたちが心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

【職員配置】 正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

1. 保育理念

児童保育施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

子ども一人ひとりを大切に、健全な心身の発達を促し、思いやりのある意欲的な子どもを育てる。

3. 保育目標

* じょうぶな身体、元気な子ども

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、素足保育を行い丈夫な身体を作る。
- ・ 食に意欲と関心を持ち、健康な身体を作る。

* 心身ともに豊かな子ども

- ・ 地域との交流を深め、世代間交流・異年齢児保育を通して、思いやりのある豊かな心を育てる。

* 自分で考え意欲的な子ども

- ・ 身の回りのことは、自分でする力を育てる。
- ・ 自分の意志をはっきりと伝え、相手の話すこともよく聞く力を育てる。

○ 保育内容

保育指針を基礎にして、毎月職員会議を開き、各年齢に応じた養護・教育のねらい及び内容からカリキュラムを作成し、愛情豊かな保育を進めていく。

また、職員研修では、子ども達が、保育所において安定した生活（すなわち生命の保持及び情緒の安定）と充実した活動ができるように、研究課題を出し合い検討していく。

例えば ① 子どもの人権について

② 記録の取り方や指導計画作成について

③ 保護者との対応の仕方（多様化する育児への考え）

④ 一時保育・延長保育について

○ 行 事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は、知育面・体力面を考慮して目的地を選択し、そのうち1回は、親子遠足、バス遠足を取り入れる。（現地視察）
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながらも、一人ひとりを大切に参加させる。

○ 安全対策

- ・ 毎月1回火災等の緊急事態を想定した避難訓練を行う。
- ・ 地震災害を想定した避難訓練も年2回実施する。
- ・ 不審者の侵入を想定した防犯訓練を年2回実施する。
- ・ 誘導その他の不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入し薬剤情報提供書等がある場合にはそれも添付するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防に努めるよう指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の方や民生児童委員の方々との食事会やふれあい交流活動を行う。
- ・ 高齢者ホームの入所者や地域のお年寄りを招待又は訪問し、季節的行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 地域の行事（敬老会・市民センター秋祭り等）に参加する。
- ・ 卒園児を含む一般児童を保育園に招き、交流を深める。
- ・ 小・中・高等学校等の生徒を対象とする一日保育士体験学習を行う。
- ・ 一時保育事業を行う。

○ 開園時間

午前7：00から午後7：00までとする。

（午後6：00から午後7：00までは延長保育）

但し、園児の保護者のニーズにより柔軟な体制をとる。

○ 保育担当

担当保育士を定め、園長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

○ 職員研修

- ・ 全国・県・市・区関係及び、各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において問題点を検討し、共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

4. 保育担当者（別紙2の通り）

5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区則松二丁目9番1号	1, 204.74㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート造2階建の1階部分	707.13㎡

6. 資金計画

通常経費は、運営費収入・私的契約利用料収入・経常経費補助金収入・雑収入・受取利息
配当金収入によるものとする。

【 平成26年度主な行事 】

実施月	行 事	参加者	場所・会場
4 月	平成26年度 第35回 入園式及び進級式(クラス懇談会) 交通安全指導 映写会 野菜植えつけ	全児・保護者 以 上 児 以 上 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
5 月	園児健康診断 1回目 春の親子遠足 交通安全指導 蟻虫検査 則松小交流会	全 児 全児・保護者 年 長 児 全 児 以上児・小学生	保 育 園 内 グリーンプーク 交 通 公 園 保 育 園 内 保 育 園 内
6 月	シルエット劇場 腹話術 保育参加・参観(親子クッキング・クラス懇談会・給食試食会) プラネタリウム見学 歯科検診 小学・中学・高校生体験学習 則松市民センター・地域合同防災訓練	年 長 児 全 児 全児・保護者 年 長 児 4・5歳児 全児・小学、中学、高校生 全児・地域住民	八幡市民会館 保 育 園 内 保 育 園 内 児童文化科学館 保 育 園 内 保 育 園 内 保育園・則松市民センター等
7 月	七夕交流会 プール開き 職員健康診断 小学・中学・高校生体験学習 野菜収穫 則松小交流会 折尾保育所交流会	年長児・年長者 全 児 職 員 全児・小学、中学、高校生 以 上 児 以上児・小学生 年 長 児	サングリーンホーム 保 育 園 内 健 康 セ ン タ ー 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 折尾保育所内
8 月	おたのしみ会(卒園児交流会) エコ・マザー 中学・高校生体験学習(ボランティアセンター)	年長児・卒園児 全 児 全児・中学、高校生	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
9 月	保育まつり 第35回 大運動会	全児・地域乳幼児 全児・保護者	子 ど も の 館 則松西1号公園
10 月	国際交流 園児健康診断 2回目 秋の遠足 芋掘り(園外) 小学・中学・高校生体験学習 クラリネット演奏会 折尾保育所交流会	全 児 全 児 全児(年齢別) 年 長 児 全児・小学、中学、高校生 全 児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保育所近辺公園 田 仲 農 園 保 育 園 内 保 育 園 内 折尾保育所内

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 1 月	七五三祝（神社参拝） 勤労感謝訪問 一日保育士体験 則松小学校学芸会見学 則松小交流会	年 長 児 年 長 児 地域住民等 年 長 児 以上児・小学生	鷹 見 神 社 則松市民センター・囃子等 保 育 園 内 則 松 小 学 校 保 育 園 内
1 2 月	第 35 回 生活発表会 食材買い物 年長者とのふれあい交流会 クリスマス会 高齢者ホーム訪問	全 児 年 長 児 年長児・地域住民 全 児 年 長 児	保 育 園 内 平 田 商 店 則松市民センター 保 育 園 内 サングリーンホーム
1 月	たこあげ大会 祖父母・地域の方との交流会	以 上 児 年長児・祖父母・地域の方	則松西 1 号公園 保 育 園 内
2 月	節分（豆まき） 個別懇談会 保育参加・参観（講演会・クラス懇談会・給食試食会） 折尾保育所交流会 クッキング	全 児 全クラス・保護者 全児・保護者 年 長 児 年長児・年中児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
3 月	ひなまつり 則松市民センター・地域合同防災訓練 お別れ遠足 お別れ会（バイキング） 第 35 回 卒園式	全 児 全児・地域住民 全児（年齢別） 以 上 児 4・5 歳児・卒園児保護者	保 育 園 内 保育園・則松市民センター 近 辺 公 園 等 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・おたのしみ会（誕生会） ・避難訓練 ・身体測定 ・園外保育 ・定例職員会議
- ・全職員細菌検査 ・給食関係職員O-157検査 ・則松西 1 号公園等清掃（クリーン day）
- ・地震災害を想定した避難訓練や、不法な侵害から子どもたちを護る防犯訓練を必要に応じて実施する。
- ・毎月始めに園便り、クラス便り、給食献立表及び給食（食育）便りを発行する。

2. その他

- ・お泊り保育（年長児） ・消防設備保守点検等 ・個人懇談は必要に応じて実施する。
- ・事業協会 所（園）長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加する。

4. 子育て支援や則松小学校区地域住民会議理事会、委員会等に積極的に参加する。